

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2012 年度第 2 回理事会
日 時	2012 年 11 月 11 日 (日) 11:00~16:30
場 所	西宮市市民交流センター B会議室
参 加 者	理事 側垣 江口 大野 島村 古野 (遅刻) 横山
欠 席 者	理事 家本 西澤 監事 能島 森本
事 務 局	長谷 重松
議 案	1. 報告事項 (1) 事業部門等報告 (2) 会員・会計報告 (3) RTC 関連報告 (4) NPO パナソニックファンドによる助成事業 (組織基盤強化) の経過報告と意見交換 2. 協議事項・審議事項 (1) 正会員入会の承認手続き (2) 定款変更について (3) 中学生暴力防止プログラムトレーナー養成について 3. その他 ・ 今後の理事会の日程 ・ 2013 年度定時総会の日程
【報告事項】	
(1) 事業部門等報告	<p>事務局より7月16日以降の報告が行われた。</p> <p>第1事業は、スペシャルニーズ (SNP) プログラム講座 (2回、24人受講) と就学前プログラム講座 (1回、12人)、資格講座資格更新のための必須研修「トークタイム研修」 (5回、65人)、全国児童虐待防止ネットワーク助成事業として社会的養護における CAP プログラム研修 (1回、17人)、福祉医療機構助成事業として教職員ワークショップ研修 (3回、43人) を実施した。第2事業は、学生のための「子どもへの暴力防止のための基礎講座」 (1回、10人) を実施した。第4事業として、活動会員向け情報誌『The☆すぺしゃりすと』、賛助会員・支援者向け通信『CAP NEWS』を発行した。第6事業では、和歌山県で活動開始した新グループへの支援、ならびに他団体との連携として司法面接 (RATAC) 研修のアクター、研修の講師として招かれることが増えてきている。</p> <p>11月27日~12月26日まで、オンライン寄付キャンペーンに参加することになった。昨年、組織診断でお世話になったパブリックリソースセンターの寄付サイト GIVE ONE (ギブワン) を利用するもので、申請が通過したことは、CAP 活動が社会的に評価された結果であると考えられる。テーマは社会的養護の現場での CAP プログラムの継続実施で、先日、東京にて研修を受け、現在プロジェクト広報内容を精査している段階である。フィリップモリスジャパン社からは5年間継続して、児童養護施設へのプログラム提供に助成をいただいているが、その財源だけに依存しないための方策を立てることが必要であり、今回をその機会のひとつと捉える。現在実施しているパナソニック NPO サポートファンド助成事業である組織基盤強化「社会発信力の強化」という課題への対応とも考えている。</p>
(2) 会員・会計報告	<p>事務局より会員状況と会計状況について報告が行われた。</p> <p>会員は、団体正会員86、個人正会員3人、活動会員510人、賛助会員15人となっている。</p> <p>会計は、会費収入は賛助会員を除きほぼ予算に達している。第1、2事業の講座・研修は収入に対する支出の割合がほぼ予算どおり。第4事業は予算達成する</p>

<p>(3) 中学生暴力防止プログラムトレーナー養成について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会の招集・表決、理事会の招集・表決についての「電磁的方法」への対応の検討 ・ 「みなし総会決議」実施への検討 <p>〈決議事項〉 当法人の定款の文言「収支」から「活動」への変更、および文言「軽微な事項」の削除を行う事を承認し、次回総会議案とする。 「電磁的方法」への対応については、次回理事会にて引き続き、検討する。 「みなし総会決議」を現段階で当法人で行なうことは難しいと考えるため、定款変更しない。</p> <p>事務局より、第3回 RTC 間協力会合で J-CAPTA に依頼していた「中学生暴力防止プログラムトレーナー養成」について、2012年11月6日にメールにて返信があったとの報告があり、検討を行った。</p> <p>〈決議事項〉 RTC エリア内で中学生暴力防止プログラム実践者の養成・研修を行うために、J-CAPTA にトレーナー養成のための講師依頼をすることとする。</p>
<p>【その他】 ○今後の理事会の日程 ○2013年度定時総会の日程</p>	<p>第3回 2013年2月2日(土) 第4回 2013年4月13日(土)</p> <p>総会 2013年5月26日(日) 研修等 2013年5月25日(土)</p>
<p>議事録署名人選任</p>	<p>島村理事、古野理事</p>

議事要旨作成：長谷